Dessins du Nu.

裸体デッサン

№ 1.

中川紀元編



中央美術社版

一つの胴と四つの肢體。これが實に無限だ。
どんなにいろいろの事がこれで物語れる事ぞ！

――ロダン――

1 ルノアール
2 ファヴォリー
3 津田青楓
4 ドガ
5 中村不折
6 ルノアール
7 マチス
8 藤島武二
9 マイヨール
10 黑田淸輝
11 モディリアニ
12 ボナール
13 藤島武二
14 ピカソ
15 長谷川昇
16 ロート
17 セザンヌ
18 萬鐵五郎
19 中村不折
20 レヂエー
21 中川紀元
22 ドニ



ルノアール

Renoir



ファヴォリー

Favory.



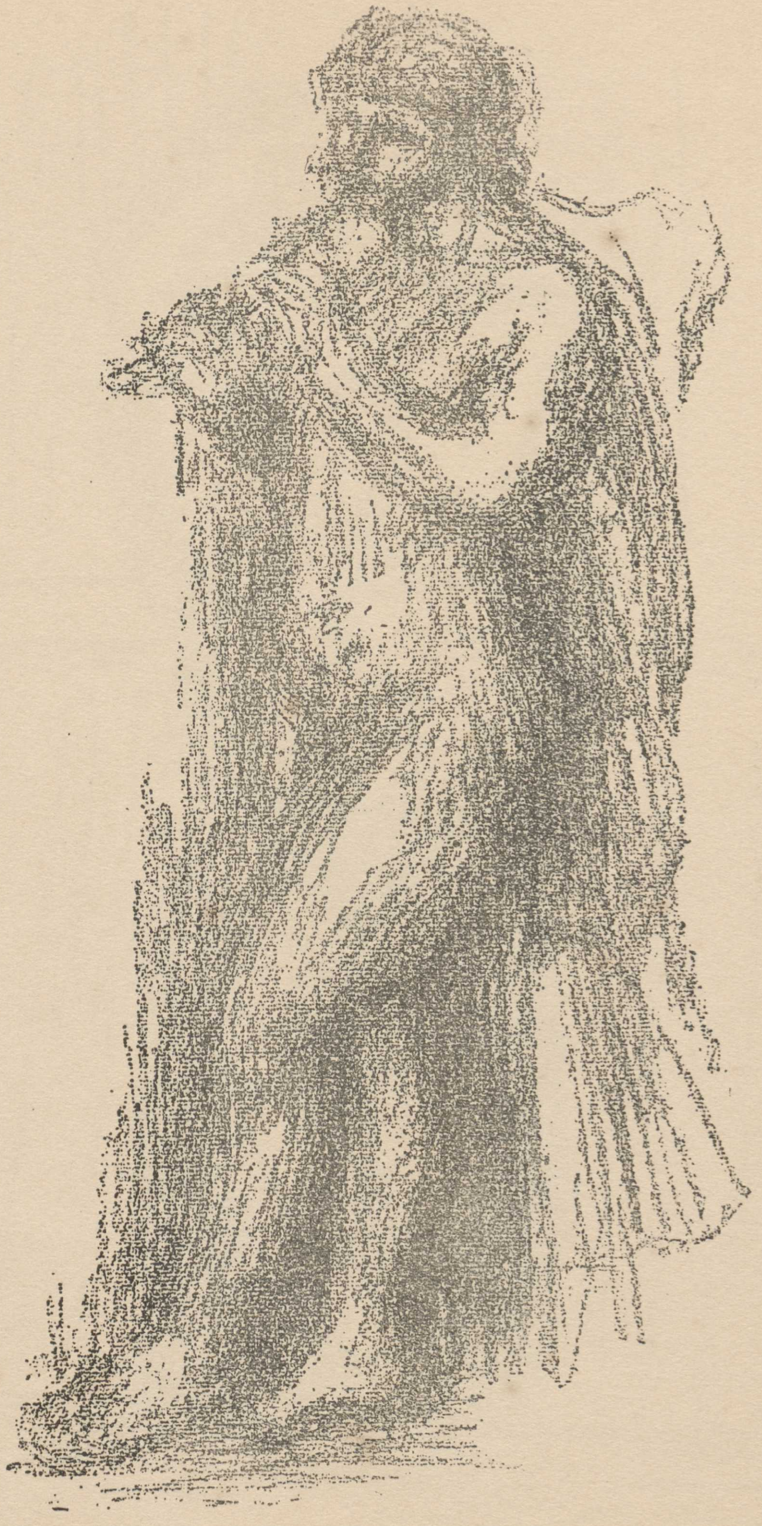
津田青楓



Degas

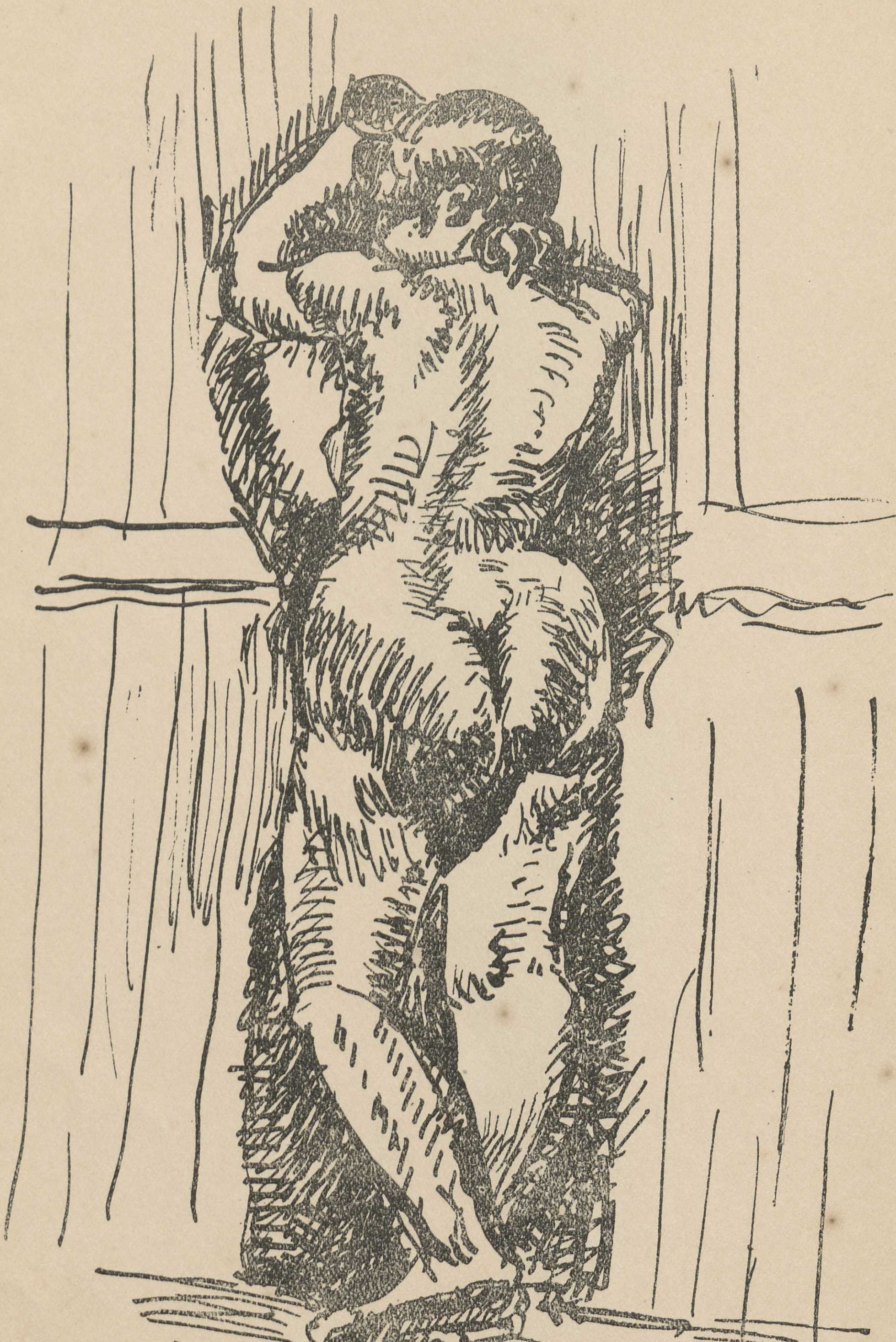


中村不折



・ルノアール

Renoir.

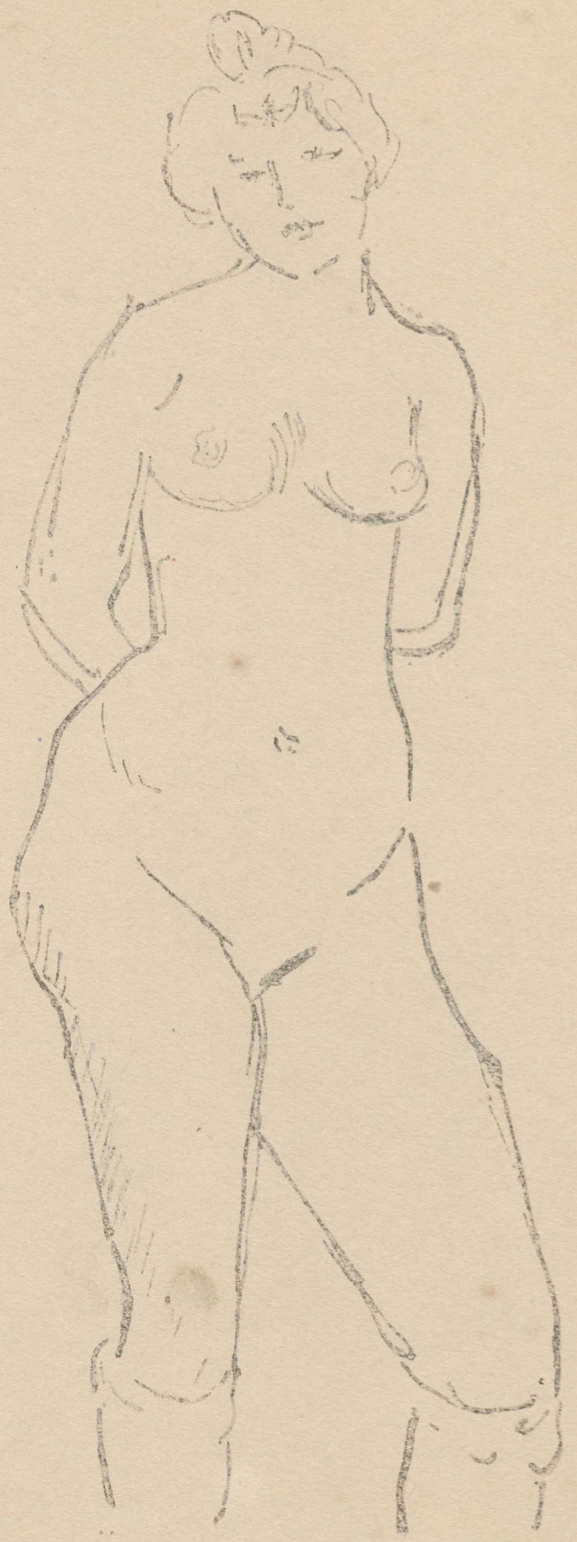


マチス

Matisse.

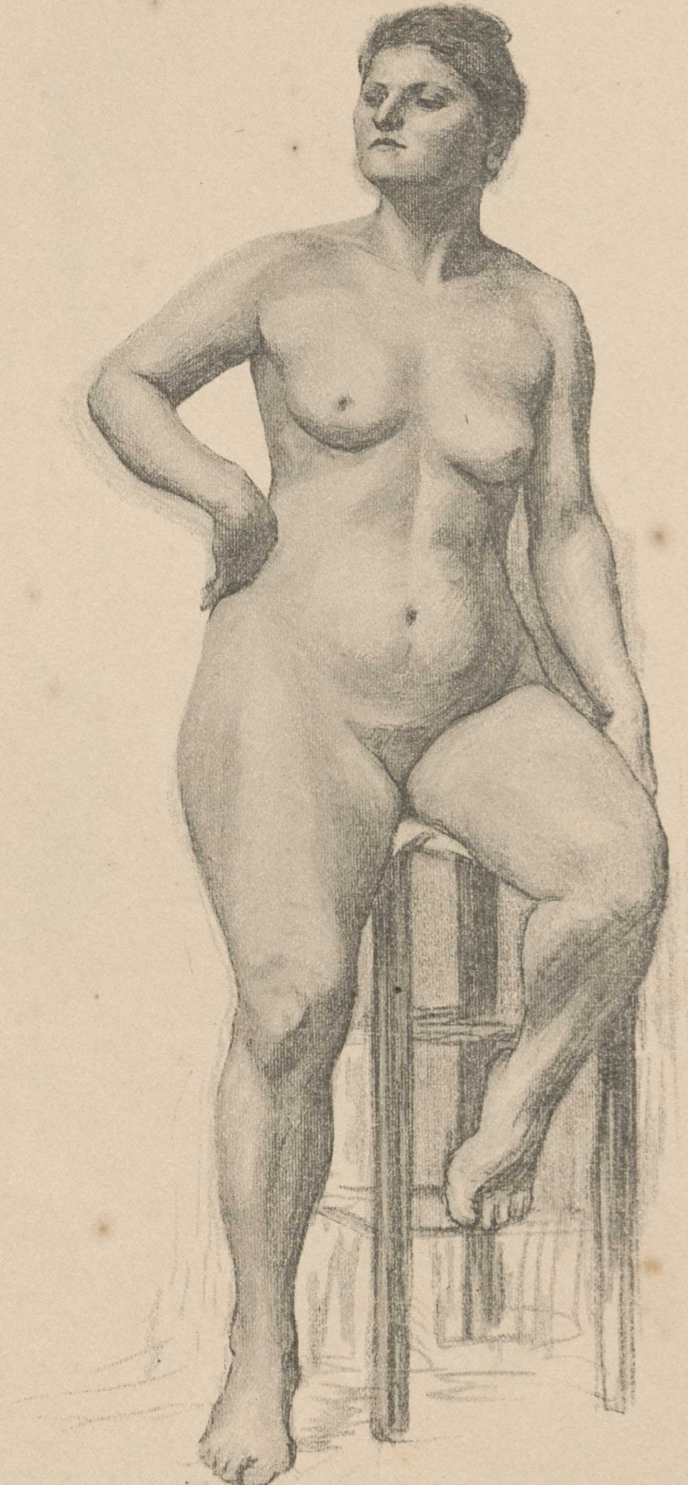


藤島武二



マイヨール

Maillol.



黒田清輝



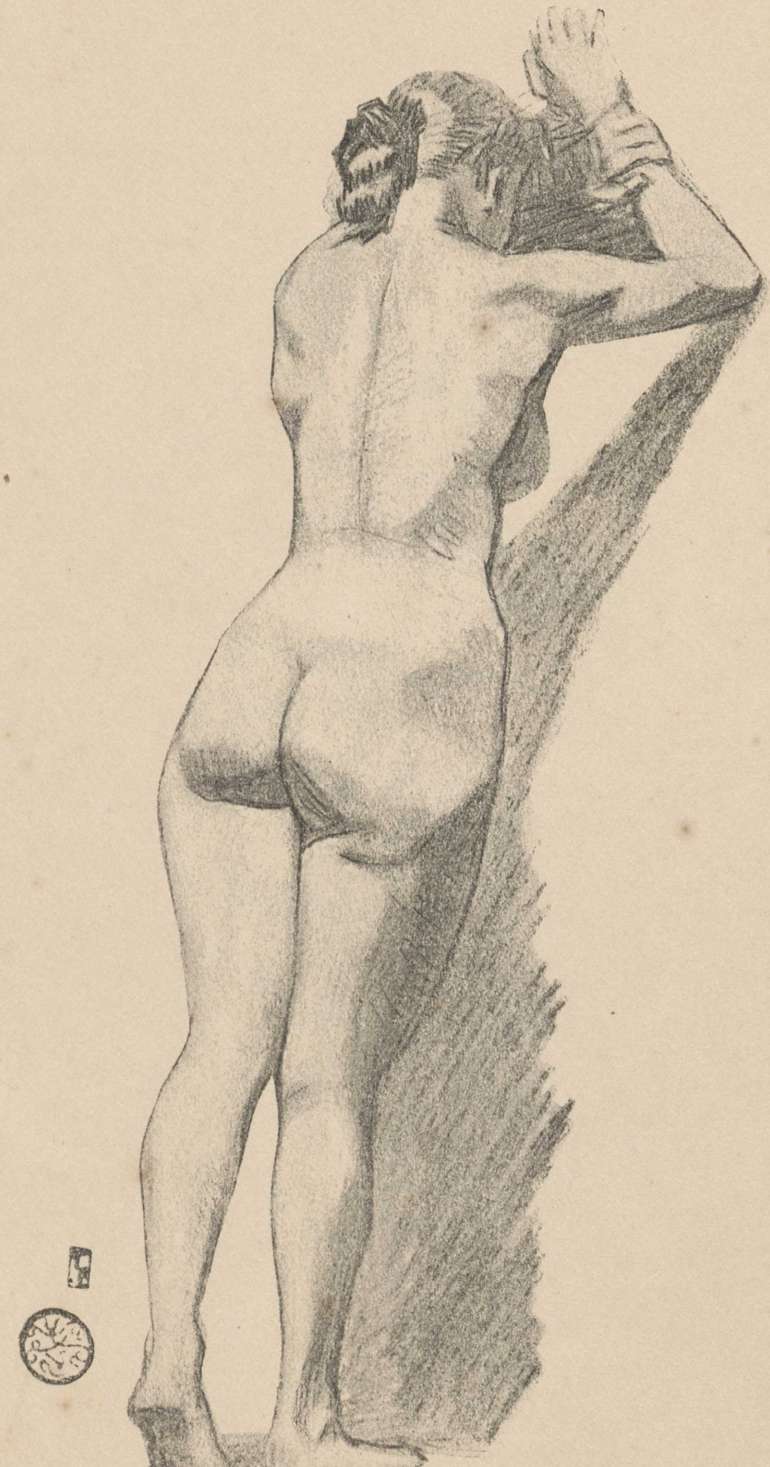
モディリアニ

Modigliani.

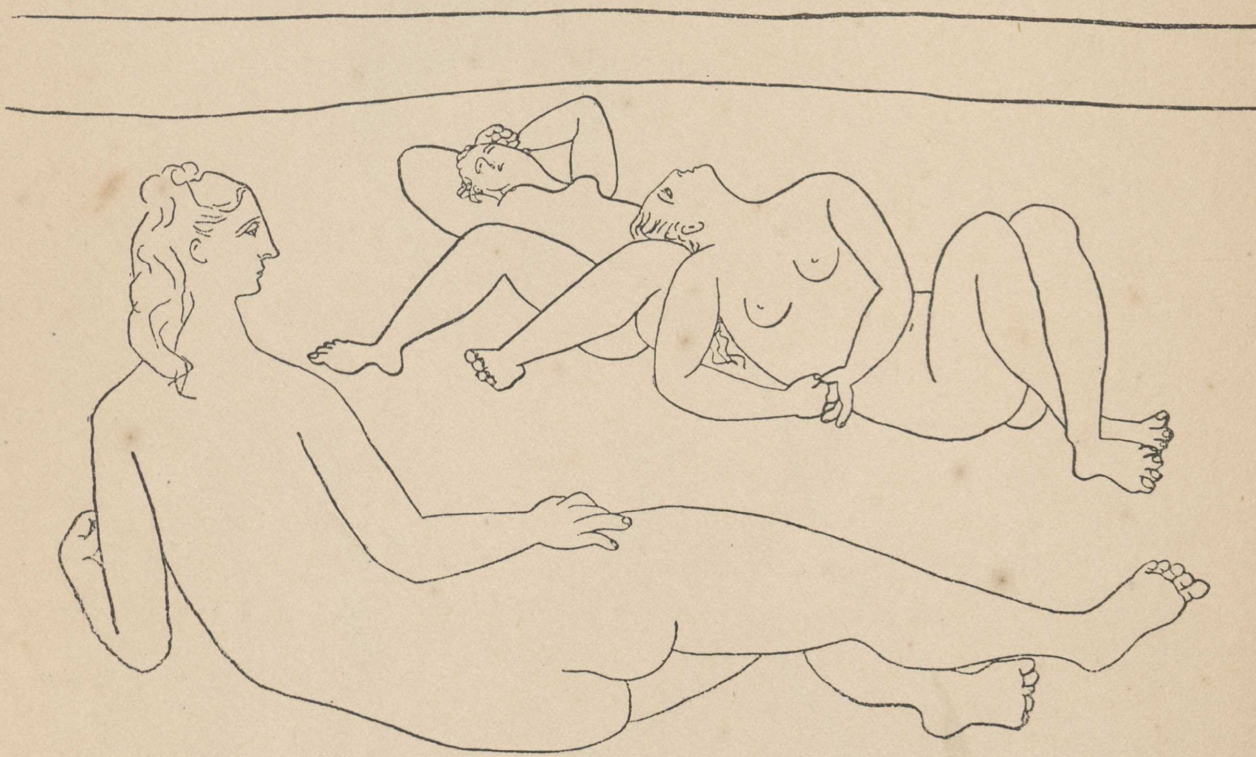


ボナール。

Bonnard

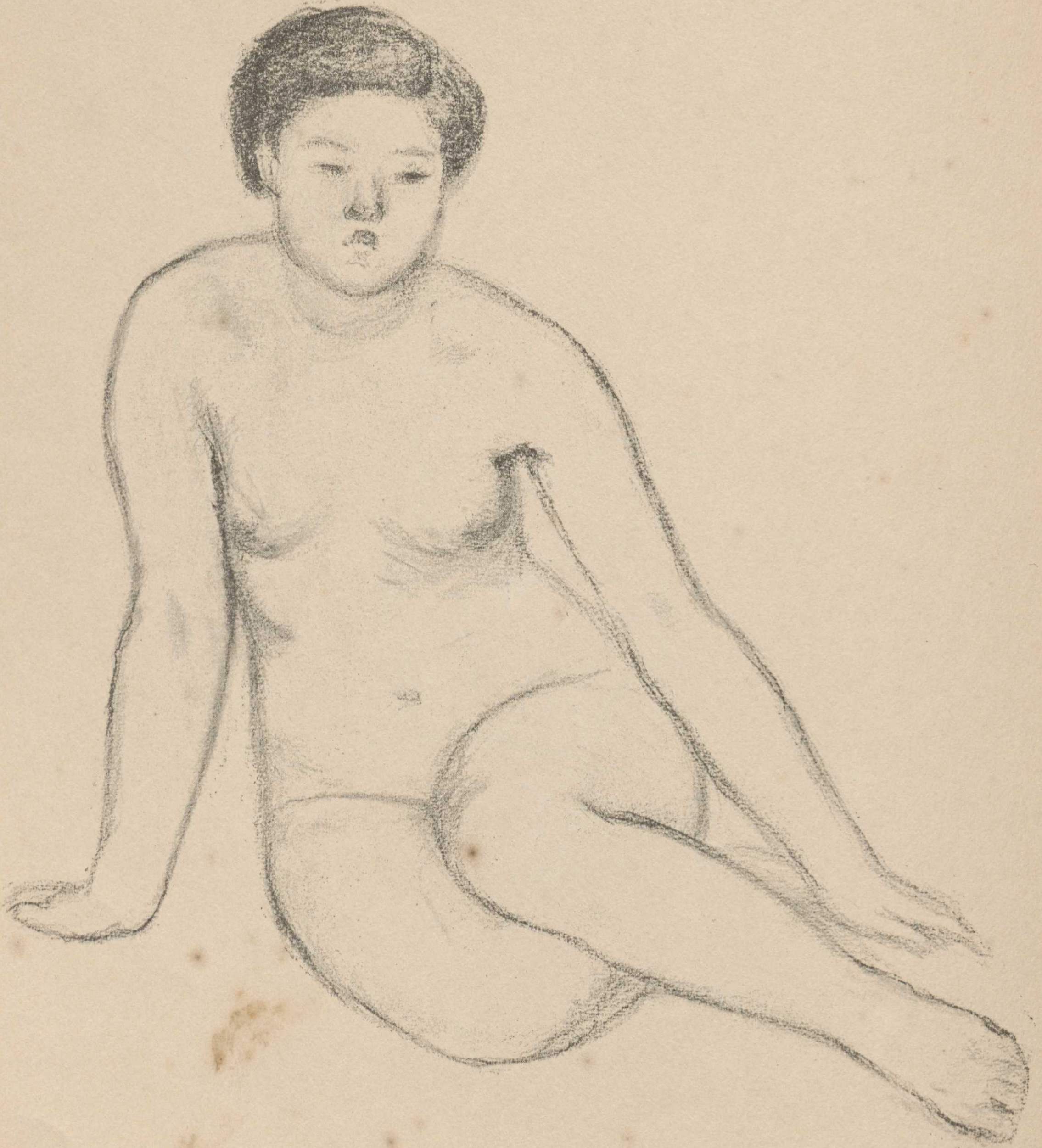


藤島武二

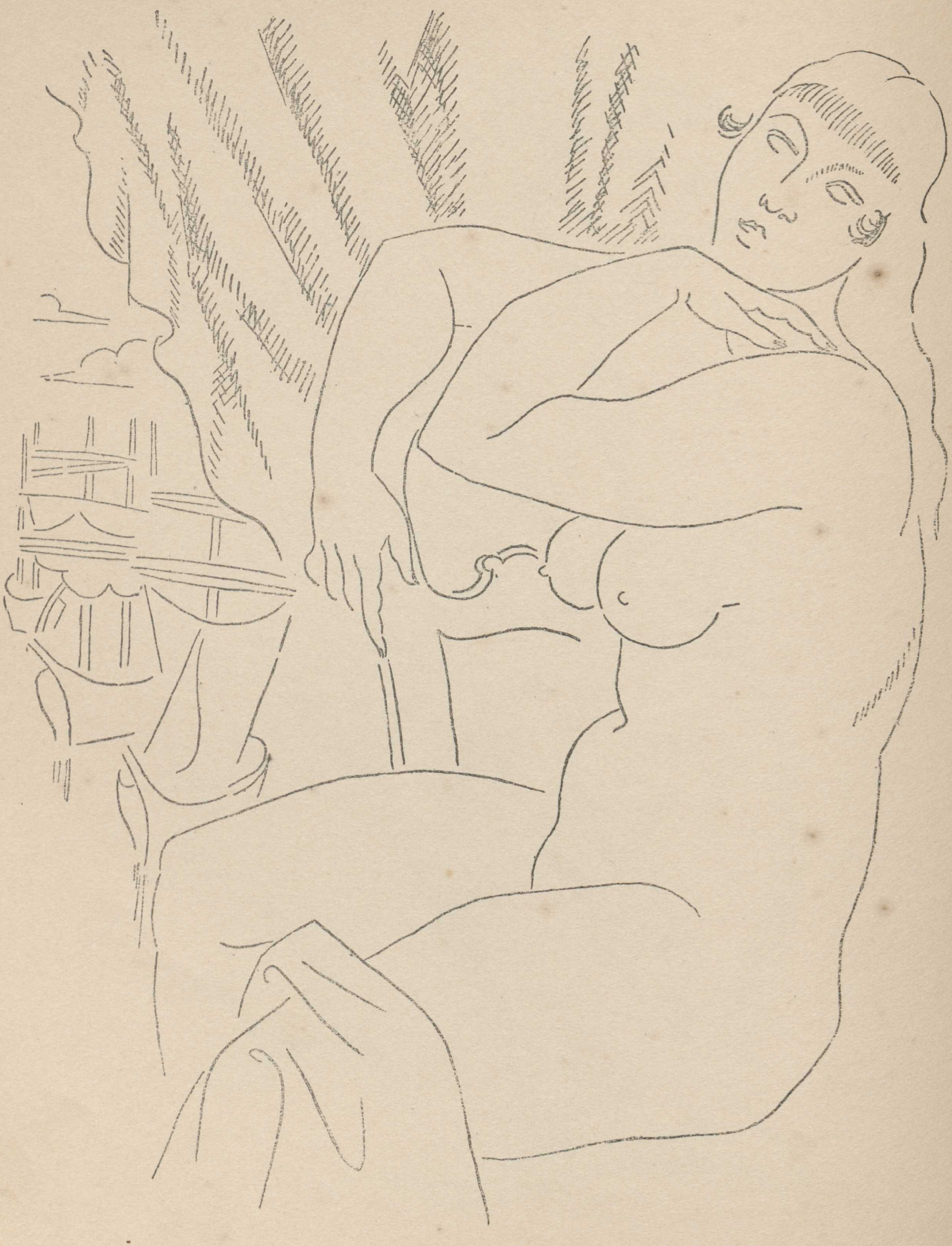


ピカソ

Picasso

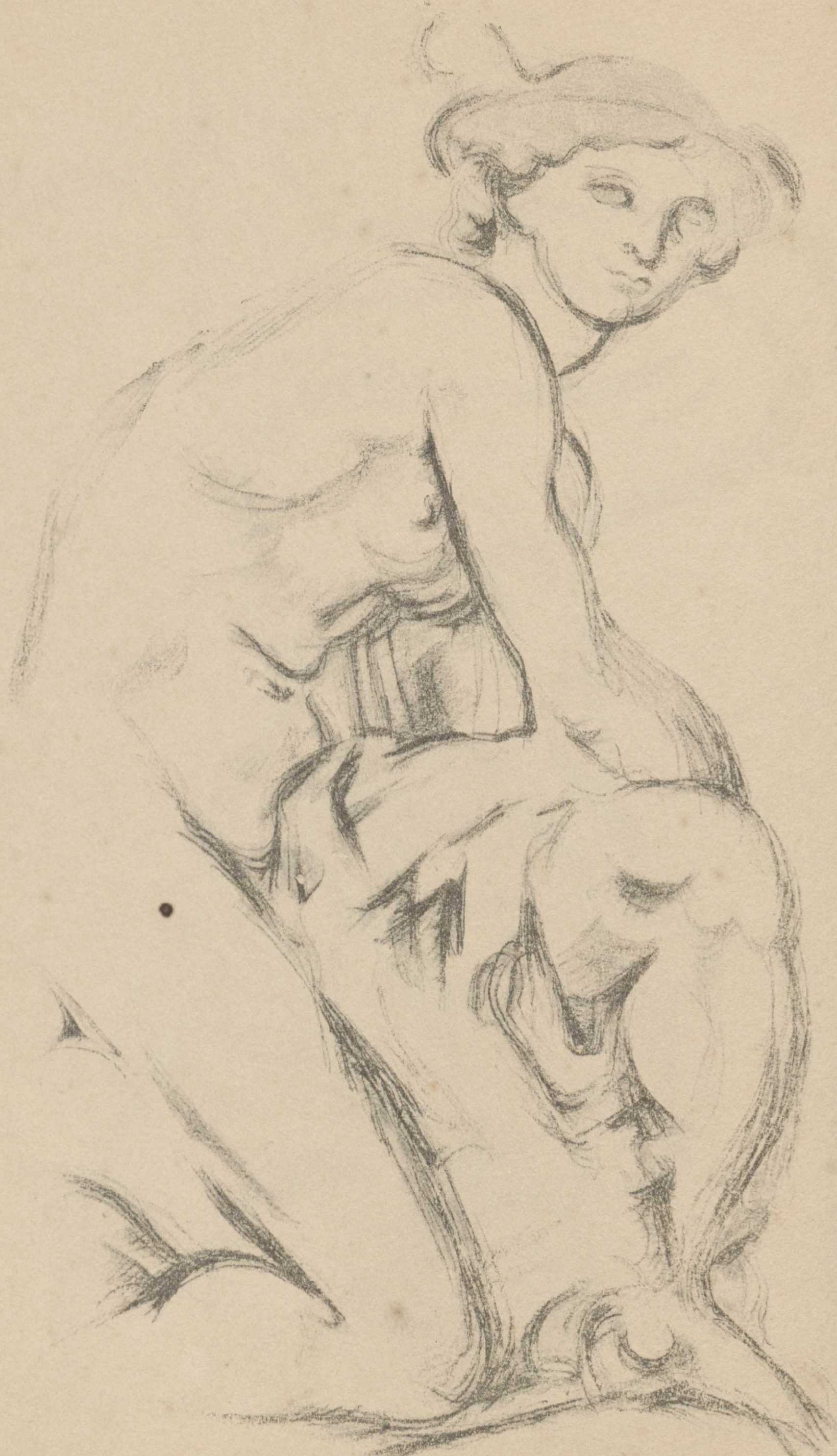


長谷川昇



ロート

Lhote.

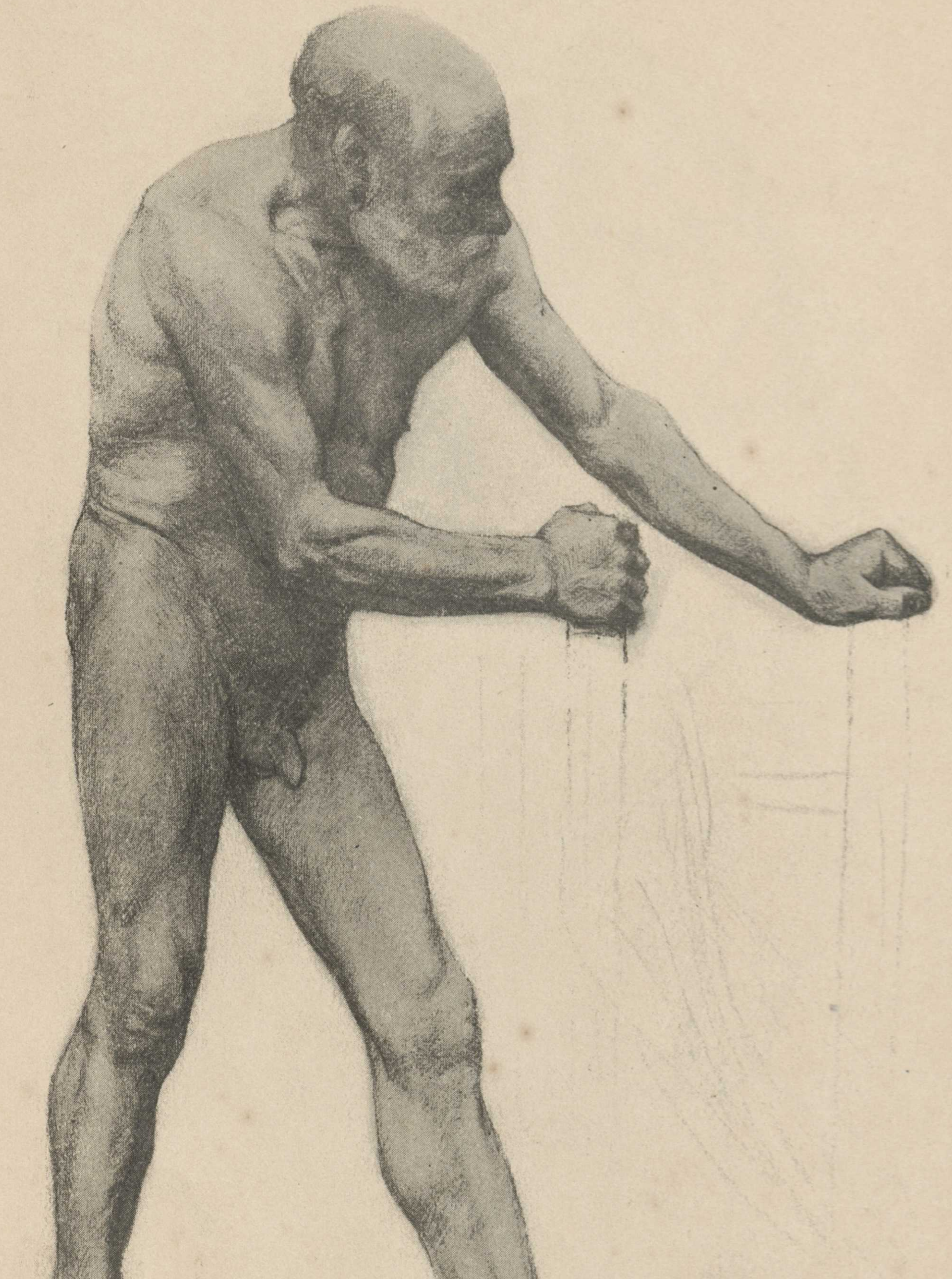


セザンヌ

Cézanne



萬 鐵 五 郎



中村不折



レヂエー

Lèger.



中川紀元



Denis

編輯の後に

中川紀元

デッサンは美術の餘りに基本的で最も普遍的な要素であるために、往々單に下繪や稽古用のものとして誤まられてゐる。

デッサンは繪畫の裸のありさまである。それは色彩の綺羅を着けないために却つて卒直に單的に美の本體を呈示する。

ドラクロワは嘗てその日記に書いて、一つのタブローの中にエスキースのシヤルムを保存することの如何に難しいかを嘆じてゐる。エスキースのシヤルムは乃ちデッサンのシヤルムである。

□

裸體は人間の最も美しい姿である。格別な注意を惹くとも思はれないモデルの男や女が、ひとたび着物を脱いでモデル臺に立つた時、如何にも美しく犯し難いやうな威力を示すことはアトリエで常に經驗するところである。

人體は世の中に創られたものゝ中で最も美しく最も微妙な形を持つものである。頭と胴體と四肢と、その全體の統一と釣合と構成とのうちに魂の奥底のものが充ち溢れてゐるのを見よ、淺薄な臆病からこの美しさを賤しむものゝ愚さよ！

例へばロダンのやうな偉人が生涯を通じて如何に熱烈に人體を讃美し、如何に執拗くその神秘的な美を追求したことか―― これは大きな教訓である。

□

色々な人の色々な行き方で表はされた裸體デッサンの藝術を見やうとして、今度田口掬汀、井家忠男兩氏の助言と共力を得てこの畫集を編んだ。逐次集を重ねるに從つて漸く古今東西の、なるべく異つたものを取り混ぜて輯めて行かうとする。畫學及び鑑賞の道に在る人々のその幾分の資ともなれば編者の目的は足りる。（一九二二、一二）

大正十二年一月五日印刷
大正十二年一月十日發行

裸體デッサン
定價金壹圓八拾錢

不許複製

編者　中川紀元

東京市本郷區湯島六ノ廿
發行者　田口鏡次郎

印刷所　田中松太郎
一噌印刷所

發行所
日本美術學院
中央美術社
東京市本郷區湯島六ノ廿

Dessins du Nu.

裸体デッサン

№ 2.

中川紀元編



中央美術社版

——裸の女が波浪から出ると、寢床から出ることによつてヴィナスと呼ばれまたニニイと呼ばれる。これ以上のものを發見することは出來ない。

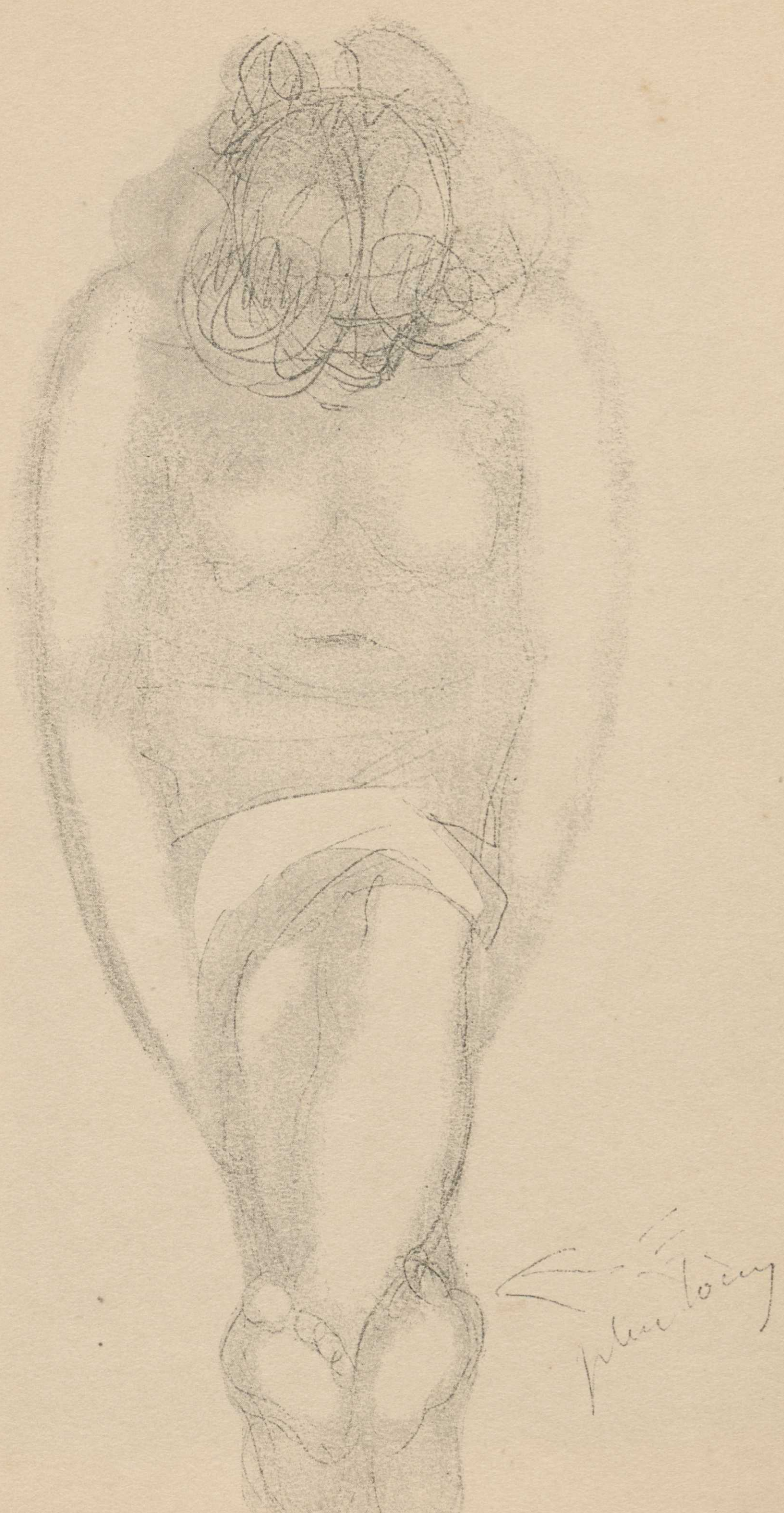
——ルノアル——

1 ミレー
2 ロダン
3 ベルナール
4 ドラクロア
5 岡田三郎助
6 石井鶴三
7 ピカソ
8 山下新太郎
9 ザッキン
10 スゴンザック
11 カスパル
12 石井鶴三

13 モロオ
14 シヤヴンヌ
15 シヤヴンヌ
16 マルケ
17 梅原龍三郎
18 中川紀元
19 ペヒシュタイン
20 山下新太郎
21 ロダン
22 遠山五郎
23 横井禮一
24 グロッツ



Millet



Rodin

ロダン



ベルナール

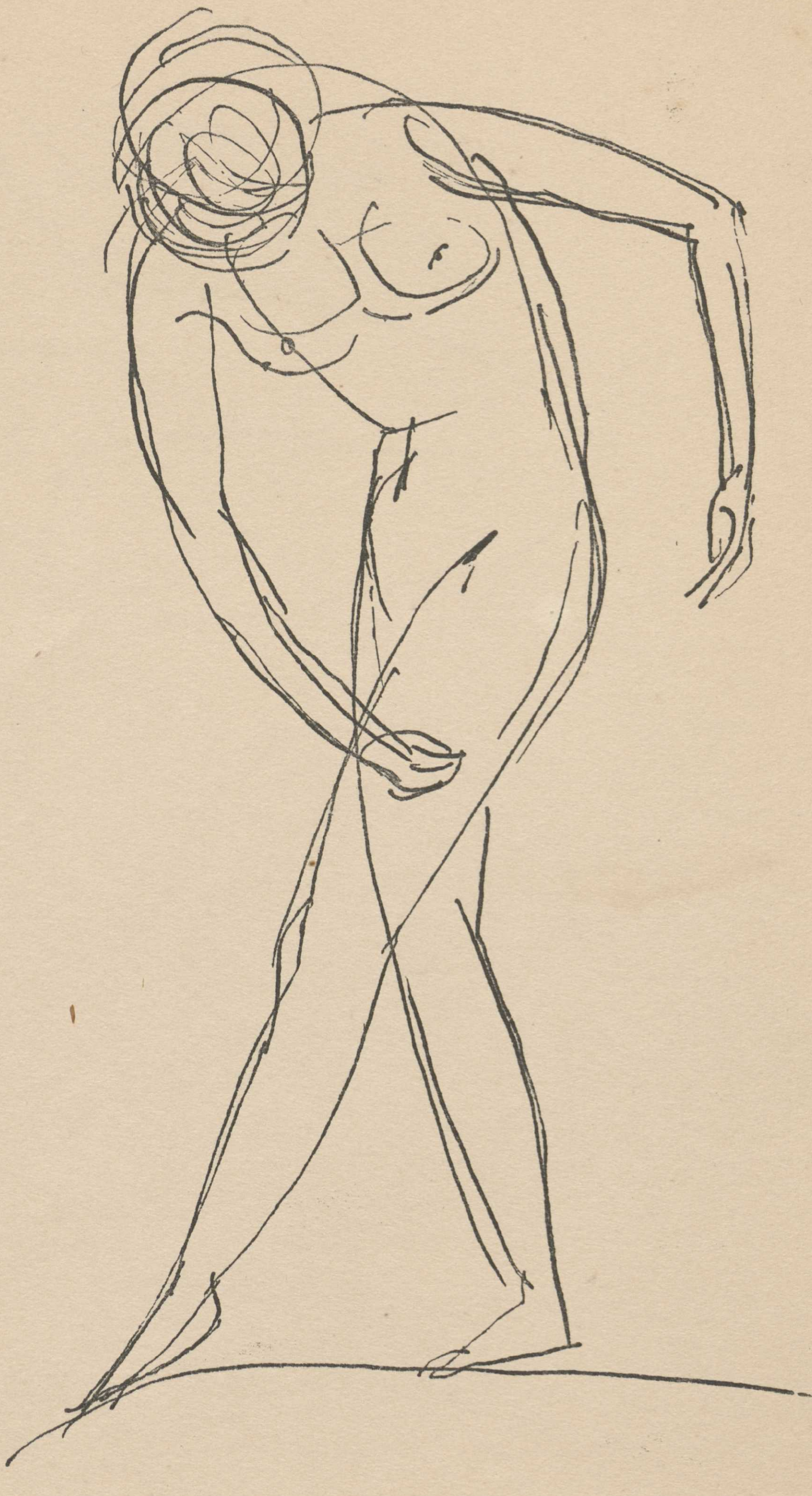
Bernard



ドラクロア



岡田三郎助



石井鶴三

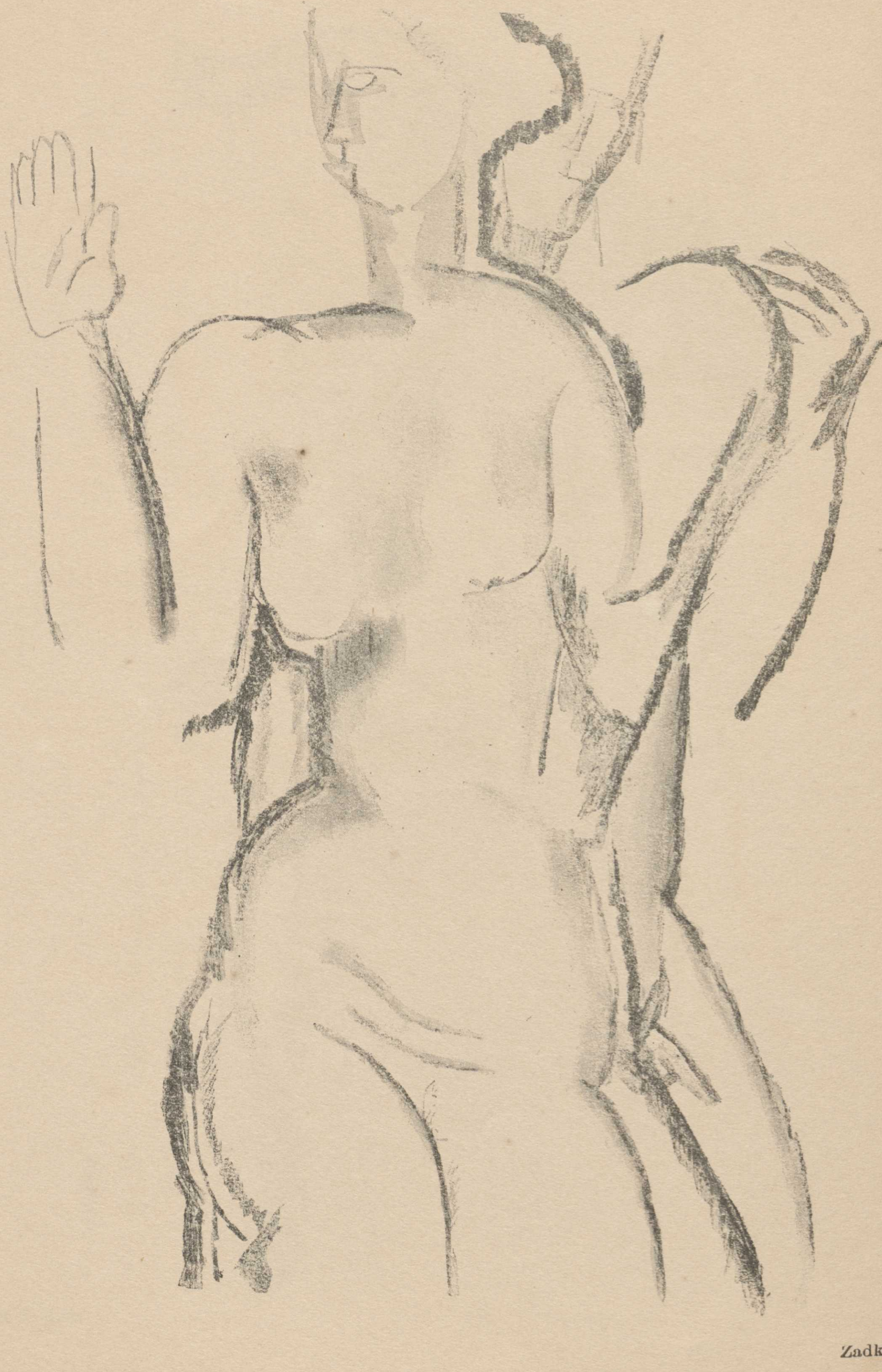


ピカソ

Picasso



山下新太郎



ザツキン

Zadkine



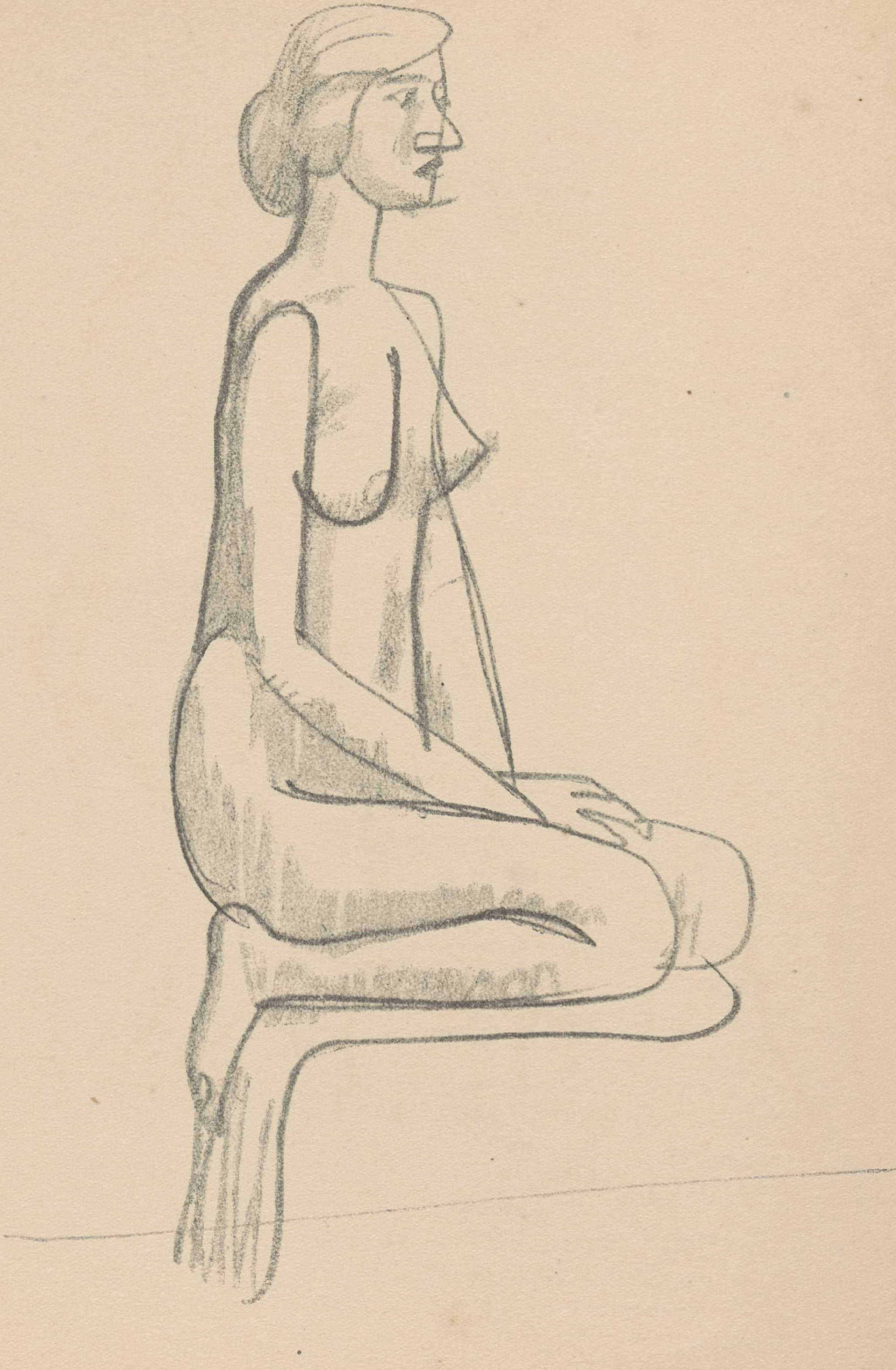
Segonzac

スゴンザック



カスパル

Karl Caspar

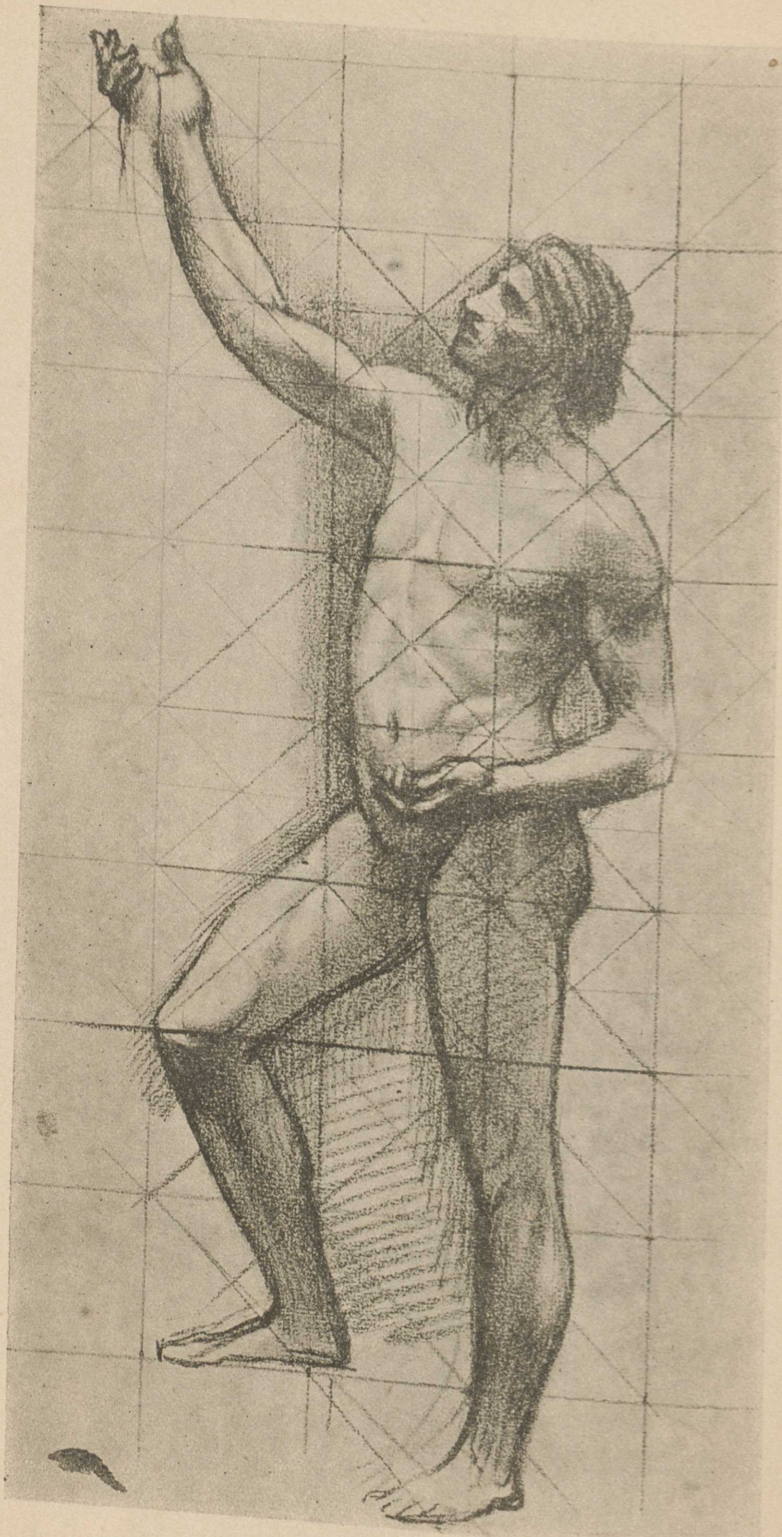


石井鶴三



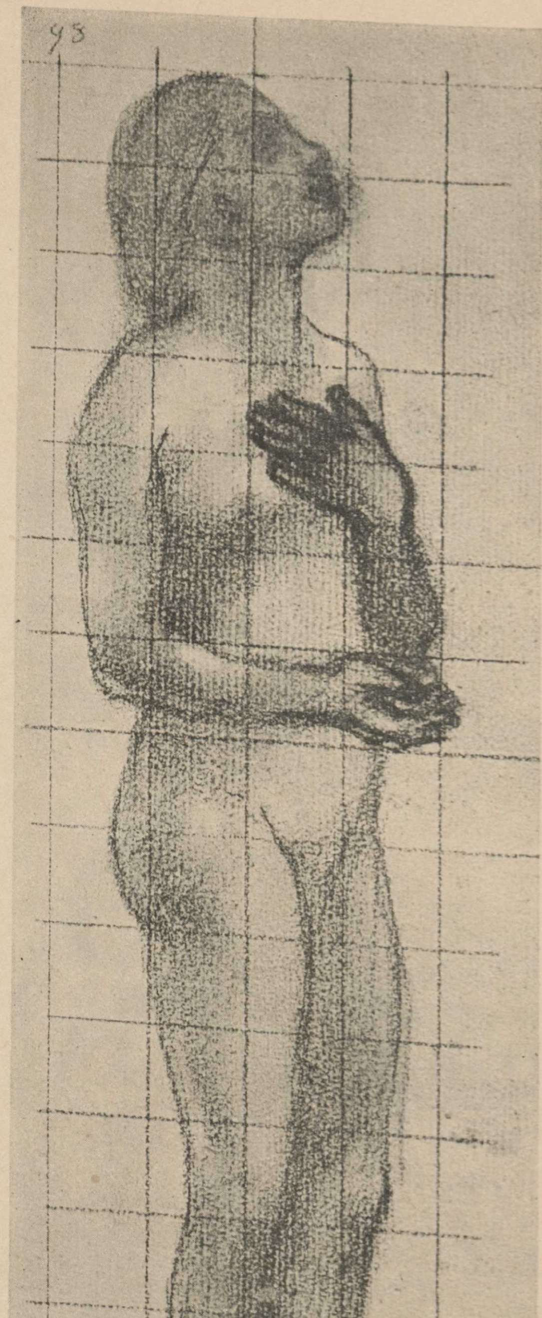
アルベール●モロオ

Albert Moreau



Chavannes

シヤヴンヌ



シヤヴンヌ

Chavannes

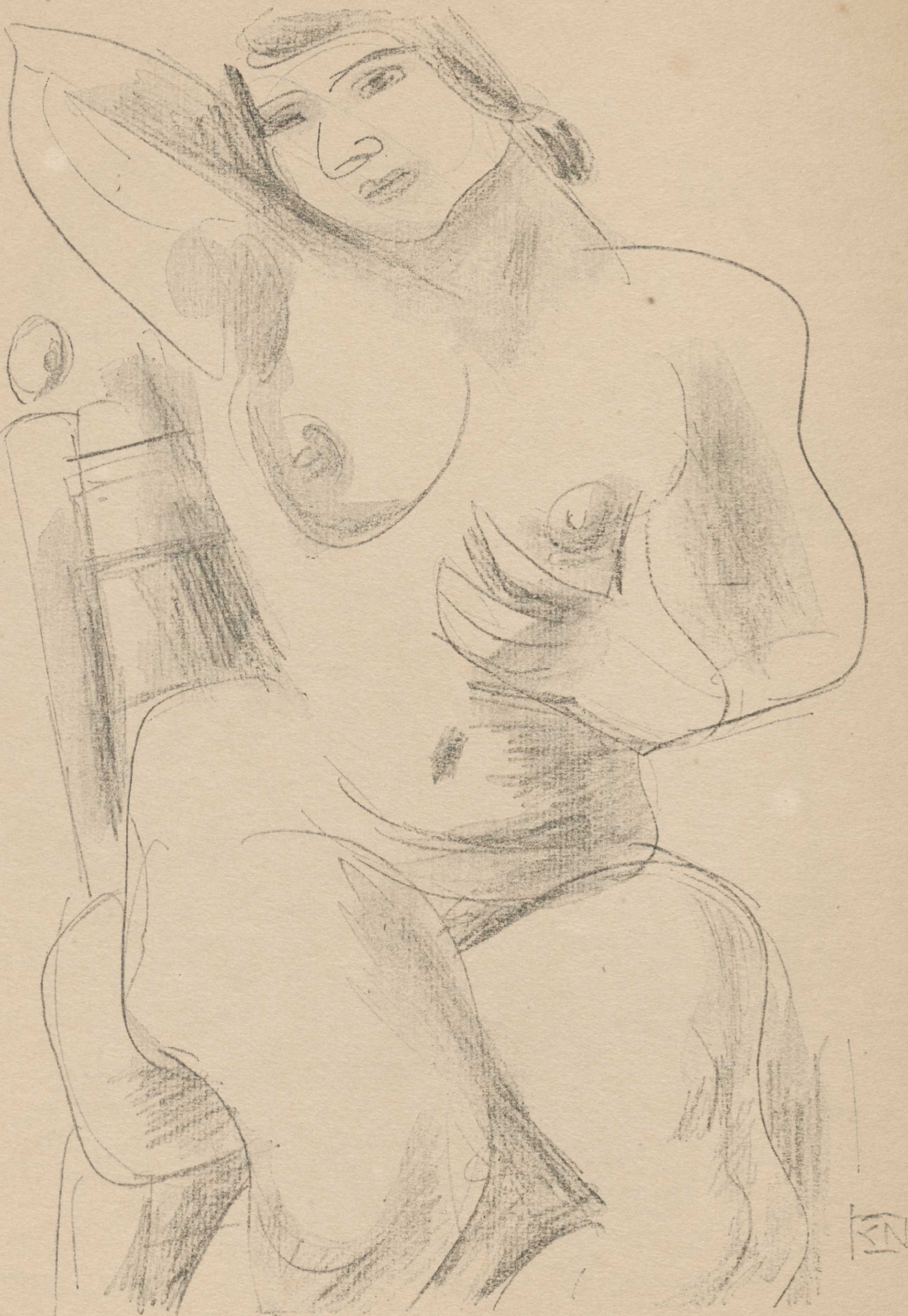


マルケ

Marquet



梅原龍三郎



中川紀元



ペヒシユタイン

Pechstein



山下新太郎

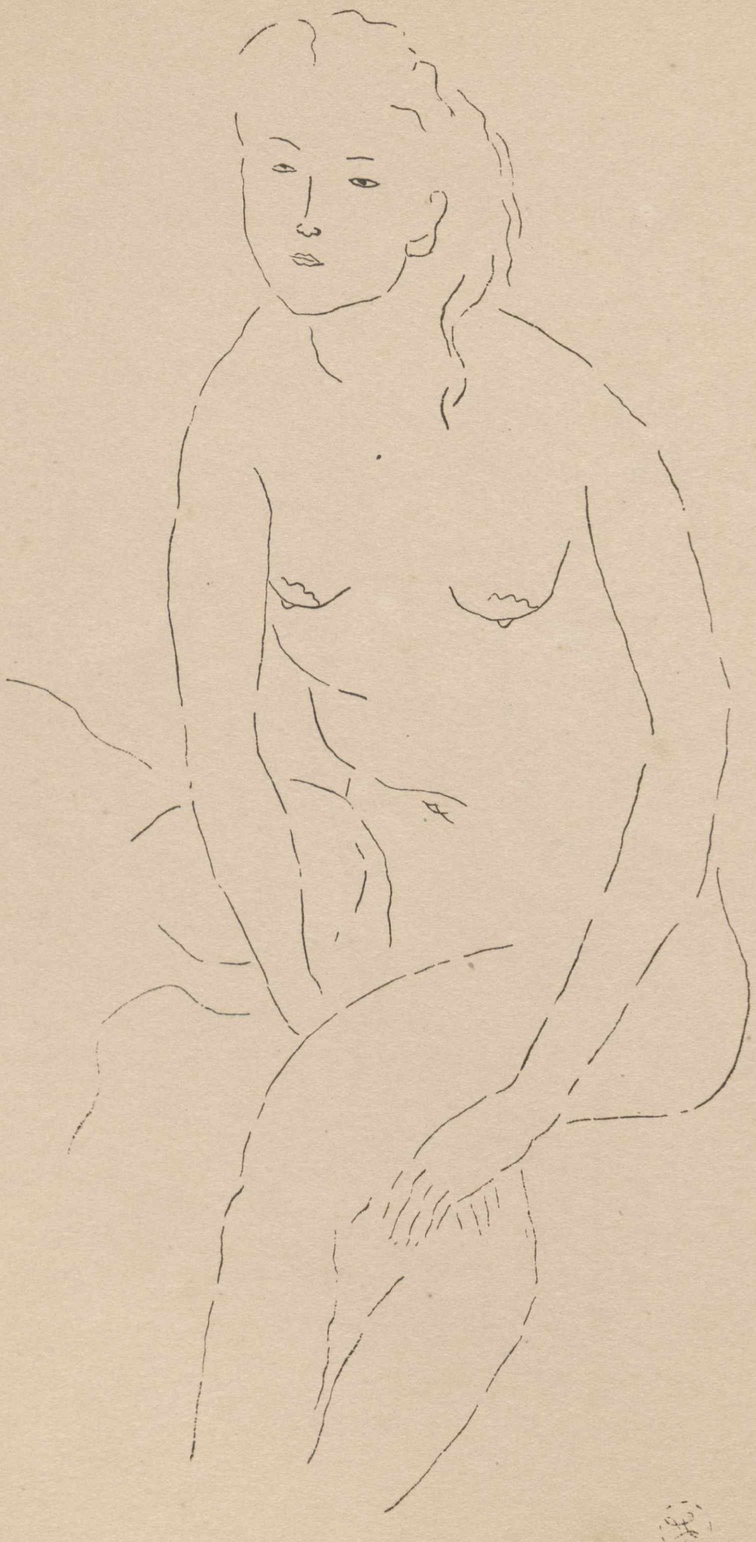


ロダン

Rodin



遠山五郎



橫井禮市



グロッツ

Grosz

編輯の後に

中川紀元

この畫集の第一輯は豫想外の好評を以つて迎へられた。これは此種の出版にその功の大半を擔ふべき印刷の技術の成功に依るもので、自分はその精巧に驚くと同時に從業の人々の勞を多とする次第である。

最もデリケートな一線一觸の微にその生命を托するデッサンを完全に複製する事は隨分むづかしい仕事である。

□

人間の精神が汲めども盡きない深さを持つと同じやうに、埃及の太古から幾百千度となくその肉體が飽く事なく繰返し描かれて如何に限りなき美しさを表はしてゐる事か！　齊しくこれ一個の體軀である。幾多の美術家は各自の個性と思想と氣禀とに從つてこれに或は生々したムーヴマンを求め或はしなやかな觸感を求め或は建築的なソリディテを求め、或は又皮肉な態度でその動物性を求め更に幾つかの姿勢を集めて一つの組立てをしやうとする。その變化の多樣はこの畫集を繙く人々の眼に充分に豊富に映じて良き觀照を購ひ得ることゝ信ずる。自分はこの書の刊行の徒爾でなかつた事を欣ぶ。（一九二三、二）

大正十二年三月十七日印刷
大正十二年三月二十日發行

裸體デッサン第二輯
定價金貳圓也

編者　中川紀元

發行者　東京市本郷區湯嶋六ノ廿　田口鏡次郎

印刷所　東京市神田區連雀町一八　田中松太郎

發行所　日本美術學院
中央美術社
東京市本郷區湯島六ノ廿